

市町村における胃内視鏡検査に関する実施状況について

平成 30 年 10 月保健・疾病対策課調査

1 胃内視鏡検査の実施状況について (回答 77 市町村)

実施している	実施していない		
23 (29.9%)	54 (70.1%)	平成 31 年度以降実施予定	2
		実施する予定はない	21
		現時点では不明	31

2 いつから胃内視鏡検査を実施しているか (「実施している」と回答した 23 市町村)

指針改正前から	指針改正後から
14 (60.9%)	9 (39.1%)

2-1 実施施設 (回答 23 市町村)

佐久	佐久総合病院小海分院、川上村診療所、千曲病院、八千穂クリニック、佐久総合病院、軽井沢病院、安紀内科クリニック、浅間総合病院、岡田医院、荻原医院、金澤病院、川西赤十字病院、工藤医院、くろさわ病院、こすも内科クリニック、小林内科クリニック、坂戸クリニック、佐久平ファミリークリニック、佐久長土呂クリニック、相馬医院、高橋医院、田嶋クリニック、つつみハートクリニック、都甲クリニック、野澤医院、増田医院、まつぎクリニック
上田	依田窪病院、ささき医院、せき内科クリニック、東御記念セントラルクリニック、祢津診療所、ほしやま内科、東御市民病院、東御市立みまき温泉診療所
伊那	昭和伊南総合病院、南向診療所
飯田	下伊那赤十字病院、阿南病院、健和会病院、泰阜村診療所、飯田医師会に所属している医療機関
大町	市立大町総合病院、小野医院、柿下クリニック
長野	須高地域の 9 医療機関、小川村国民健康保険直営診療所、町立飯綱病院
北信	栄村診療所

2-2 「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」に沿って実施しているか (回答 23 市町村)

項目	実施している	一部の医療機関で実施している	実施していない
対象者を 50 歳以上とし、対象者名簿を作成している	8 (34.8%)	0 (0%)	15 (65.2%)
検診間隔を 2 年に 1 回としている	9 (39.1%)	1 (4.3%)	13 (56.5%)
検査医は下記①～③のいずれかの条件を満たしている (※)	17 (73.9%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)
撮影方法 (部位、コマ数) を規定している	8 (34.8%)	2 (8.7%)	13 (56.5%)
読影はダブルチェックで行っている	8 (34.8%)	3 (13.0%)	12 (52.2%)
ダブルチェックは内視鏡を専門とする医師 (必ずしも専門医でなくてよい) が行っている	8 (34.8%)	2 (8.7%)	13 (56.5%)
内視鏡画像について定期的な点検調査を行っている	13 (56.5%)	0 (0%)	10 (43.5%)
偶発症の報告の方法・経路・連絡先について、フローチャート等で規定している	9 (39.1%)	1 (4.3%)	13 (56.5%)
(上記の項目について) 把握していない	7 (30.4%)		

- (※) ①日本消化器がん検診学会認定、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医のいずれかの資格を有する医師
 ②診療、検診にかかわらず概ね年間 100 件以上の胃内視鏡検査を実施している医師
 ③①または②の条件を満たす医師と同等の経験、技量を有すると認定された医師

2-3 内視鏡検診を実施する上で起こったトラブルや工夫した点、不安な点等（自由記載）

（回答 23 市町村）

- ・内視鏡検査でがん以外の疾患も診ることができるため、その場合の対応が難しい（検査結果書の書き方、精検依頼書作成等）
- ・予期せぬ出血など対応への不安はあります
- ・検診を担当する部署のスタッフが事前に内服薬や食事の摂取状況などを確認しているため、内視鏡室スタッフの負担が少なく安全に実施できている。
- ・ダブルチェックの体制が無い。
- ・地方の医師不足。町民ドック（要予約）の中で実施しているが、連絡無くキャンセルとなる場合が困る。
- ・高齢者で初の申し込みがあった時は、心配がある。（内視鏡経験や痴呆の有無等事前に確認している。）
- ・外国人への対応（日本語の理解度など）
- ・できる限りトラブルを避けるため、事業開始にあたり、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」に沿って企画し、委託先医師と内容についての認識共有に努めた。
- ・平成 29 年度からの実施で、検診の実施方法などは、模索中です。内視鏡を希望される方が多いのですが、医療機関が限られているため、困ります。
- ・対策型検診のマニュアルが作成される前から実施していたため、住民に急激な変更とならないよう、医師会とも相談し現在の体制をとっている。（年齢等）

2-4 胃内視鏡読影医研修会の開催・参加状況（他団体で開催したものでも、内容を把握していれば可）

（回答 23 市町村）

開催した（または開催を把握した）	1 (4.3%)
開催していない（開催を把握していない）	22 (95.7%)

3 平成 31 年度以降に実施予定とした市町村における課題・問題点について（回答 2 市町村）

- ・「胃内視鏡検診マニュアル」に沿った検診を実施するための資格のある医師等の確保や読影体制の構築
- ・医師会、関係医療機関と準備委員会を立上げたところであり、実施体制全般について今後検討予定。読影委員会の設置、読影医研修会、予算措置、周知方法等

3-1 管内で内視鏡検査が行える医療機関を把握しているか（回答 2 市町村）

今後把握したい	2 (100%)
---------	----------

3-2 胃内視鏡検査読影医研修会の開催を予定しているか（回答 2 市町村）

- ・「がん検診従事者事業実施要綱」では、研修の実施主体に市町村は含まれていない。県において開催されるようお願いしたい。
- ・現在検討中のため未定。

4 胃内視鏡検査を実施するつもりがないと回答した市町村における、実施しない理由について

(回答 21 市町村、複数回答可)

胃部エックス線検査による胃がん検診を継続する	17 (81.0%)
胃内視鏡検査を受け入れてもらえる医療機関が少ないため	13 (61.9%)
胃内視鏡検査は行えるが、検査器具等の設備が指針(対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル)を満たす医療機関が少ないため	1 (4.8%)
胃内視鏡検査は行えるが、読影やダブルチェック体制を整備することが難しいため	4 (19.0%)

【その他(自由記載)】

- ・町単位では、胃内視鏡検査運営委員会等を医師会などと連携し、立ち上げるのは困難。
- ・村単独で体制を整備することが難しい。

5 胃内視鏡検査を実施するかどうか現時点では不明と回答した市町村における理由について

(回答 31 市町村、複数回答可)

今後、市町村内で検討する予定	15 (48.4%)
関係医師会(医療機関)と検討する予定	13 (41.9%)
予算措置が必要なため	9 (29.0%)

【その他(自由記載)】

- ・医師会と協議したが、二重読影体制や実施医療機関の確保など課題が多く、他市の動向をみて検討していく。
- ・胃内視鏡検査実施に向けて諸々の体制面を整える必要がある。近場で内視鏡可能な医療機関も少ない。
- ・胃内視鏡検査実施医療機関の確保が難しいため。
- ・実施可能医療機関が不足。
- ・実施できる医療機関が少なく受け皿がないため実施したいができない状況である。
- ・実施したいが単独では実施体制の整備が困難であり、近隣市町村の状況を聞きながら検討する。
- ・医師会消化器委員会の医師へ相談したところ、ダブルチェック等難しい点もあり国の動向をもう少し見てから実施の検討をしたい方がよいということになっている。
- ・胃内視鏡を受けられる医療機関が村内に1か所しかなく、実施に当たっては医師会に相談し、受診環境を整えていかないと実施できない。
- ・委託できる医療機関及び健診機関がないため。
- ・実施可能な医療機関の確保に課題があるため
- ・町内に検査を実施できる医療機関に限られるうえに、診療に支障が出ることも予測できるため相談することにも躊躇がある。
- ・医師会との調整が必要なため、現時点では何とも言えない。
- ・胃部エックス線検査を継続する、胃ピロリ菌検査を実施している
- ・関係機関との調整や精度管理体制等において課題があるため。他市町村の動向をみて実施を検討したい。
- ・検診としての胃内視鏡検査を受け入れてもらえる医療機関が少ない。